



平成25年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年10月3日

上場取引所 東

上場会社名 ミニストップ株式会社

コード番号 9946 URL http://www.ministop.co.jp

代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 阿部 信行

問合せ先責任者(役職名) 取締役常務執行役員管理本部長 (氏名) 田中 茂 (TEL) (043)212-6472

四半期報告書提出予定日 平成24年10月10日 配当支払開始予定日 平成24年11月7日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年2月期第2四半期の連結業績(平成24年3月1日~平成24年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収入		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年2月期第2四半期	63,372	2.9	3,793	24.9	4,353	21.6	2,115	9.3
24年2月期第2四半期	61,582	7.0	5,052	14.8	5,550	13.2	1,935	9.6

(注) 包括利益 25年2月期第2四半期 2,725百万円(31.9%) 24年2月期第2四半期 2,065百万円(%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年2月期第2四半期	73.16	73.01
24年2月期第2四半期	66.92	66.81

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年2月期第2四半期	111,398	58,887	51.3
24年2月期	104,331	56,572	52.8

(参考) 自己資本 25年2月期第2四半期 57,176百万円 24年2月期 55,059百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年2月期		22.00		22.00	44.00
25年2月期		22.50			
25年2月期(予想)				22.50	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年2月期の連結業績予想(平成24年3月1日~平成25年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収入		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	132,650	8.5	7,800	1.1	8,750	1.7	3,500	12.9	121.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 社(社名) 、 除外 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年2月期2Q	29,372,774株	24年2月期	29,372,774株
期末自己株式数	25年2月期2Q	449,479株	24年2月期	451,563株
期中平均株式数(四半期累計)	25年2月期2Q	28,921,756株	24年2月期2Q	28,919,318株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、【添付資料】4ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（その他）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報等	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の経済は、円高、電力供給問題、厳しい雇用情勢の継続、海外の欧州債務危機や原油高、新興国経済の停滞懸念等により、先行きの不透明な状況が続きました。

このような状況の中、当社グループは、“私たちは、「おいしさ」と「便利さ」で、笑顔あふれる社会を実現します。”というミッションのもとで、2011年3月に発表した中期経営計画の2年目として、「国内既存事業の差別化戦略」「成長戦略の多様化」「ミニストップグループ価値の向上」という基本方針に基づき、当社グループの成長に取り組んでおります。

当第2四半期連結累計期間における連結業績につきましては、営業収入633億72百万円（前年同期比102.9%）、営業利益37億93百万円（同75.1%）、経常利益43億53百万円（同78.4%）、四半期純利益21億15百万円（同109.3%）となりました。また、国内および海外のエリアフランチャイジーを含めた当第2四半期連結会計期間末店舗数は4,335店舗となりました。

各事業の活動状況は次のとおりです。

〔国内事業〕

ミニストップ(株)は、2013年にお客さま評価No. 1を獲得するというビジョンを掲げ、「コーヒー、スイーツ、おにぎりといえばミニストップ」の実現に向けて取り組んでおります。

「コーヒー」では、「M's STYLE COFFEE」の販売拡大に取り組んでまいりました。「ミニストップお徳なケータイサイト」の会員の方を対象とした期間限定の100円セールや割引クーポンの配信、設備においては新型ブルーワーカーの導入、コンディメントスタンド什器の刷新を行い、販売数、売上高はともに前年実績を大きく上回りました。「スイーツ」では、店内加工ファストフードにおいて、クレープ生地にかスタードムースとソフトクリームを組み合わせた「クレープソフト」や、アップルマンゴーにマンゴーソフトをプラスした「ダブルマンゴーパフェ」の販売が好調に推移いたしました。「おにぎり」では、店内で加工した「手づくりおにぎり」と「惣菜」を取り扱う店舗数が8月末時点で1,332店舗となり、東海地方でも販売を開始するなど導入エリアも拡大いたしました。その他の取り組みといたしましては、イオンのブランド「トップバリュ」を中心にデリー商品、農産や調味料等の品揃え拡大を行い、お客さまの内食需要の高まりに対応した取り組みを進めてまいりました。

新たな取り組みといたしましては、お客さまとのコミュニケーション機会の拡大を目的に、3月に新キャラクター「ミミツくん」を誕生させたほか、WAONとモバイルクーポンの機能を一体化した新たなサービス「WAOPON」を7月にスタートいたしました。しかしながら、既存店日販におきましては、夏場前半における低温の影響による夏物商材の販売が計画を下回ったこと等により、前年を下回りました。

店舗の開発におきましては、採算性を重視した新規出店を進めたほか、高速道路のパーキングエリア、大学、病院等の施設内出店の加速、店舗の商圏の変化に対応したスクラップアンドビルドを進めてまいりました。また、既存加盟店には複数の店舗を経営して事業規模を拡大していただくことを推進してまいりました。

上記の結果、当第2四半期連結累計期間における既存店1店1日当たりの売上高前年同期比は95.7%、1店1日当たりの売上総利益高の前年同期比は98.6%となりました。なお、第1四半期よりプリ犬（プリペイドカード）部門の売上計上を手数料収入に変更しており、売上高へのマイナス影響が約2%発生しております。新規出店は82店舗、閉店は21店舗で純増が61店舗となり、同会計期間末店舗数は2,107店舗となりました。加盟店を含む全店売上高は1,819億26百万円（前年同期比100.2%）、営業総利益は259億67百万円（同102.3%）、販管費は、出店数の増加による設備費、コーヒー、手づくりおにぎりを中心とした売場関連経費の増加等により221億円（同106.9%）となりました。営業利益は38億67百万円（同81.8%）、経常利益は43億1百万円（同82.8%）、四半期純利益は19億59百万円（同115.1%）となりました。

ドラッグ&コンビニ店舗を関東地方と近畿地方で展開している(株)れこっずの同期間における新規出店は5店舗となり、同会計期間末店舗数は22店舗となりました。

北東北地区でエリアフランチャイズ事業を展開するエヌ・ビー・ジー・エムエスネットワーク(株)の同会計期間末店舗数は43店舗となりました。なお、当社は、2012年11月1日付でミニストップ・フランチャイズ加盟店事業を承継するため、同社と会社分割による事業承継を行う予定であり、東北地域における店舗展開をより一層強化してまいります。

ネットワークサービス(株)は、定温センター13か所、常温センター5か所を運営し、国内ミニストップおよび「れこっず」店舗向けの共同配送事業を展開しております。

これらの結果、国内の当第2四半期連結会計期間末店舗数は2,172店舗となり、当第2四半期連結累計期間における国内事業の営業収入は380億15百万円（前年同期比100.4%）、営業利益は38億70百万円（同82.3%）となりました。

[海外事業]

連結子会社である韓国ミニストップ(株)は、新規出店が177店舗、閉店が64店舗となり、当第2四半期連結会計期間末（2012年6月末）店舗数は1,788店舗となりました。既存店1店1日当たりの売上高は、天候不順の影響による客数の減少等により、前年を下回りました。この結果、営業収入は251億16百万円（前年同期比106.4%）、営業利益は1億13百万円（同25.6%）となり、海外事業全体で増収減益となる主因となりました。

連結子会社である中国の青島ミニストップ有限公司は新規出店が12店舗、閉店が1店舗となり、同会計期間末店舗数は40店舗となりました。

持分法適用関連会社であるフィリピンのロビンソンズ・コンビニエンス・ストアーズ・インクの同会計期間末店舗数は329店舗となりました。

エリアフランチャイジーであるベトナムのG7・ミニストップ・サービス・アンド・トレーディング・ジョイント・ストック・カンパニーの同会計期間末店舗数は6店舗となりました。

また、カザフスタンにおきましては、コンビニエンスストア事業の展開を目的とした新規設立会社「RTSーミニストップ・リミテッド・ライアビリティ・パートナーシップ」に出資し、同社とエリアフランチャイズ契約を締結いたしました。

これらの結果、海外の当第2四半期連結会計期間末店舗数は2,163店舗となり、当第2四半期連結累計期間における海外事業の営業収入は253億57百万円（前年同期比106.9%）、営業損失は77百万円（前年同期は営業利益3億46百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ70億67百万円増加し1,113億98百万円となりました。これは主に関係会社預け金が30億円、未収入金が14億49百万円、有価証券が9億98百万円増加したこと等によります。

負債は、前連結会計年度末に比べ47億53百万円増加し525億11百万円となりました。これは主に買掛金が34億55百万円、未払金が5億19百万円増加したこと等によります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ23億14百万円増加し588億87百万円となりました。これは主に配当金の支払い6億36百万円がありましたが、四半期純利益を21億15百万円計上し、有価証券評価差額金が5億81百万円、少数株主持分が1億81百万円増加したこと等によります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物残高は前連結会計年度末と比較して10億2百万円増加し、246億35百万円となりました。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、80億22百万円の収入（前年同期比12億2百万円の収入減）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益37億55百万円、減価償却費32億18百万円、仕入債務の増加額33億74百万円、未収入金の増加額14億40百万円等によるものです。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、69億99百万円の支出（前年同期比39億30百万円の支出増）となりました。これは主に、有価証券の取得による支出10億円、有形固定資産取得による支出45億38百万円、差入保証金の差入による支出23億4百万円、差入保証金の返還による収入12億80百万円等によるものです。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、9百万円の支出（前年同期比5億52百万円の支出減）となりました。これは主に、配当金の支払額6億36百万円、少数株主からの払込みによる収入2億7百万円等によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

2013年2月期の第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、現時点では2012年4月12日の決算短信で公表した業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

（会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準）

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正により、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

（プリペイドカードの受託販売取引）

従来、プリ犬（プリペイドカード）の受託販売取引については総額表示を行っておりましたが、当該取引の重要性が増したため、第1四半期連結累計期間から純額表示に変更いたしました。

これにより、当第2四半期連結累計期間の営業収入及び営業原価は1億56百万円減少しておりますが、営業総利益、営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益への影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年2月29日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,999	13,034
加盟店貸勘定	3,957	4,357
有価証券	-	998
商品	1,193	1,320
未収入金	6,309	7,758
関係会社預け金	9,000	12,000
その他	4,377	4,594
貸倒引当金	129	134
流動資産合計	39,707	43,930
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	14,013	14,401
器具及び備品(純額)	11,158	11,654
土地	459	380
建設仮勘定	167	255
有形固定資産合計	25,799	26,691
無形固定資産		
ソフトウェア	1,528	1,531
のれん	17	14
その他	84	85
無形固定資産合計	1,629	1,631
投資その他の資産		
投資有価証券	4,976	5,844
関係会社株式	405	448
長期貸付金	572	565
差入保証金	26,810	27,743
その他	4,740	4,848
貸倒引当金	311	305
投資その他の資産合計	37,194	39,145
固定資産合計	64,623	67,468
資産合計	104,331	111,398

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年2月29日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	20,453	23,909
加盟店借勘定	732	910
短期借入金	770	1,223
未払金	4,457	4,976
未払法人税等	1,520	1,845
預り金	9,640	9,097
賞与引当金	267	234
店舗閉鎖損失引当金	45	39
その他	921	1,130
流動負債合計	38,810	43,366
固定負債		
退職給付引当金	26	83
長期預り保証金	6,531	6,649
資産除去債務	1,688	1,746
その他	701	665
固定負債合計	8,948	9,144
負債合計	47,758	52,511
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,491	7,491
資本剰余金	7,643	7,643
利益剰余金	39,840	41,318
自己株式	797	794
株主資本合計	54,178	55,660
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,254	2,836
為替換算調整勘定	1,373	1,319
その他の包括利益累計額合計	881	1,516
新株予約権	60	76
少数株主持分	1,452	1,633
純資産合計	56,572	58,887
負債純資産合計	104,331	111,398

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)
営業収入	61,582	63,372
営業原価	31,083	31,923
営業総利益	30,498	31,449
販売費及び一般管理費	25,446	27,656
営業利益	5,052	3,793
営業外収益		
受取利息	323	330
受取配当金	92	95
違約金収入	52	79
持分法による投資利益	-	18
その他	65	76
営業外収益合計	534	600
営業外費用		
支払利息	18	22
貸倒引当金繰入額	5	1
レジ現金精算損	3	4
その他	8	12
営業外費用合計	36	41
経常利益	5,550	4,353
特別利益		
固定資産売却益	56	36
貸倒引当金戻入額	48	-
収用補償金	30	-
災害保険金収入	-	10
その他	33	0
特別利益合計	168	47
特別損失		
減損損失	735	550
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	755	-
店舗閉鎖損失	56	63
店舗閉鎖損失引当金繰入額	26	23
災害による損失	630	-
その他	133	7
特別損失合計	2,338	645
税金等調整前四半期純利益	3,380	3,755
法人税、住民税及び事業税	1,680	1,734
法人税等調整額	274	59
法人税等合計	1,405	1,675
少数株主損益調整前四半期純利益	1,974	2,080
少数株主利益又は少数株主損失()	39	35
四半期純利益	1,935	2,115

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,974	2,080
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	141	581
為替換算調整勘定	255	42
持分法適用会社に対する持分相当額	22	20
その他の包括利益合計	90	644
四半期包括利益	2,065	2,725
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,964	2,751
少数株主に係る四半期包括利益	100	25

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,380	3,755
減価償却費	3,096	3,218
減損損失	735	550
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	755	-
のれん償却額	2	2
貸倒引当金の増減額(は減少)	48	2
受取利息及び受取配当金	416	426
支払利息	18	22
持分法による投資損益(は益)	-	18
固定資産除売却損益(は益)	29	34
加盟店貸勘定の増減額(は増加)	820	392
たな卸資産の増減額(は増加)	213	119
未収入金の増減額(は増加)	1,654	1,440
仕入債務の増減額(は減少)	4,581	3,374
加盟店借勘定の増減額(は減少)	535	176
未払金の増減額(は減少)	428	531
預り金の増減額(は減少)	846	545
その他	64	453
小計	11,210	9,106
利息及び配当金の受取額	280	273
利息の支払額	18	22
法人税等の支払額	2,246	1,334
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,225	8,022
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	-	1,000
有価証券の償還による収入	1,000	-
有形固定資産の取得による支出	2,917	4,538
有形固定資産の売却による収入	125	174
無形固定資産の取得による支出	114	344
貸付けによる支出	171	17
貸付金の回収による収入	49	24
差入保証金の差入による支出	1,888	2,304
差入保証金の返還による収入	1,422	1,280
預り保証金の預りによる収入	489	707
預り保証金の返済による支出	371	528
その他	693	452
投資活動によるキャッシュ・フロー	3,069	6,999

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,934	1,258
短期借入金の返済による支出	1,860	838
自己株式の取得による支出	0	0
ストックオプションの行使による収入	0	0
少数株主からの払込みによる収入	-	207
配当金の支払額	636	636
財務活動によるキャッシュ・フロー	562	9
現金及び現金同等物に係る換算差額	7	10
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	5,586	1,002
現金及び現金同等物の期首残高	16,204	23,632
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	787	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	22,578	24,635

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報等
〔セグメント情報〕

I 前第2四半期連結累計期間（自 2011年3月1日 至 2011年8月31日）

1. 報告セグメントごとの営業収入及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント		
	国内事業	海外事業	計
営業収入			
(1)外部顧客に対する営業収入	37,864	23,717	61,582
(2)セグメント間の内部営業収入又は振替高	112	5	117
計	37,977	23,722	61,699
セグメント利益	4,705	346	5,052

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

(単位：百万円)

	国内事業	海外事業	合計
減損損失	716	18	735

II 当第2四半期連結累計期間（自 2012年3月1日 至 2012年8月31日）

1. 報告セグメントごとの営業収入及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント		
	国内事業	海外事業	計
営業収入			
(1)外部顧客に対する営業収入	38,015	25,357	63,372
(2)セグメント間の内部営業収入又は振替高	123	6	129
計	38,138	25,363	63,502
セグメント利益又は損失(△)	3,870	△77	3,793

(注) セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

(単位：百万円)

	国内事業	海外事業	合計
減損損失	495	54	550

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間（自 2012年3月1日 至 2012年8月31日）

該当事項はありません。